

失敗しないプロジェクト管理 成功のカギと導入のポイント



EXEO
Digital Solutions

エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社

www.exeo-digitalsolutions.co.jp

©2024 EXEO Digital Solutions, Inc. All rights reserved

プロジェクト管理の重要性



プロジェクト管理とは

プロジェクト管理は、プロジェクトの目的を期限内に達成できるように、様々なタスクを管理することです。適切なプロジェクト管理の可否でプロジェクトの成功が決まるといっても過言ではありません。



プロジェクト管理の必要性

プロジェクトは組織横断で目的を達成するため、業務が細かいタスクに分けられています。タスクには依存関係があるものが多く、状況を常に可視化して対応していく必要がありますが、その業務プロセス自体に問題がある場合、かえってプロジェクト進行の妨げになってしまうケースも散見されます。



プロジェクト管理の成功

プロジェクト管理の成功は、企業の成長と競争力を左右する重要な要素です。しかし、多くのプロジェクトが目標を達成できず、失敗に終わる現実があります。失敗しないプロジェクト管理のためのカギと実際の事例から導入のポイントについてご紹介します。

このようなお悩みを抱えて、日々業務をされていませんか？

DXにおける問題

明確なゴール・道筋が設定されておらず、目標や解決したい課題が**不明瞭な状態**でDXへ取り組んでいる。

また、導入ツールが**企業規模に合わないシステム**を選んでしまい業務に浸透していない。

業務プロセスの問題

過剰な手作業や複雑な承認フローによる**業務効率の低下**やコミュニケーション不足・チーム間での**連携の欠如**が、効率性の向上や意思決定の迅速化を困難にし、結果として**企業の損失**につながっている。

プロジェクト管理の問題

計画に対する進捗が見えにくい、案件毎に異なる提出図書を個人管理していて共有されていない、内外のやり取りで動的に発生するタスクが多く管理しきれていない、等の「進捗管理」「文書管理」「課題管理」の代表的な課題を抱え、**さまざまな弊害が発生する状況**にある。

お悩みを解決するために

このようなお悩みを解決するために**プロジェクト管理**が非常に重要となってきます。

そして、プロジェクト管理を成功へと導くためには**業務改善の本質**を正しく理解することが重要です。

業務改善とは、組織内のプロセスや手順を効率化し、品質を向上させる取り組みを指します。

しかし、業務改善を成功させることはなかなか容易ではありません。

プロジェクトは複雑な作業の集合体であり、プロジェクトの目的や成果物がどのように関連しどのように進めるべきか全体像を把握していないと、表面的な改善で終わってしまいます。**業務改善の本質を知り、理解した上で**プロジェクト管理に取り組むことが重要です。

それでは業務改善の本質とは一体何でしょうか。



次のページ▶

それぞれのお悩みから見てきた**業務改善の本質**についてお伝えします。

業務改善の本質を理解することがプロジェクト管理成功のカギ

DXにおける問題

- 明確なビジョンの欠如
- 組織全体の合意形成不足
- デジタルツールを導入しただけになっている

業務プロセスの問題

- 現状分析の不十分さ
- プロセス改善の優先順位付けの誤り
- 関係者の巻き込み不足
- 短期的な視点での改善

プロジェクト管理の問題

- 計画の不備
- コミュニケーション不足
- リスク管理の欠如
- 進捗管理の不十分さ



【業務改善の本質】

明確なビジョンと
戦略的な目標の順位付け

効果的なリスク管理と
進捗管理

関係者間の
コミュニケーションと協力体制

次のページ▶

業務改善の本質を捉え、**プロジェクト管理を成功させたシステム導入事例**をご紹介します。

「プロジェクト管理BPMフレームワーク」を活用した導入事例

業務の可視化により合意形成を促進。

ロードマップを描き、デジタル化を計画的かつ効果的に推進

■ 帝人エンジニアリング様事例

課題

- 基幹システム刷新が進む中、ERPの機能と業務とのギャップをどう埋めるかが課題だった
- 特に工事管理業務は現場ごとにバラバラで、工事進捗や問題が管理者から把握しづらい状態であった

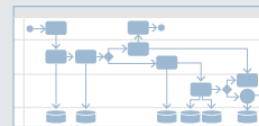
実施内容

- 現状の業務プロセス図を作成。業務プロセス図を俯瞰して問題を抽出。基幹システムで解決できる問題とそうでない問題を明確にした
- 業務の最適化に向けたロードマップを描き、基幹システム刷新と合わせて取り組むべきデジタル化施策を立案

効果

- 業務の流れを視覚的に表現した業務プロセス図をベースに議論することで、関係者の理解を促し、合意形成までの時間を短縮
- コンサルティングの活用により、第3者の視点で全体最適な施策を立案できた

業務可視化・問題抽出



業務プロセス図

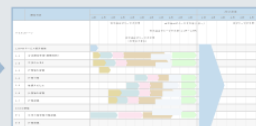


問題一覧

ロードマップ作成



問題管理表

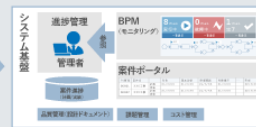


ロードマップ

ロードマップに沿ってデジタル化を推進



業務プロセス図



プロジェクト管理システム

- 業務要求
- システム導入計画

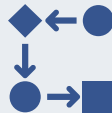
※BPMシステム・・・業務プロセスの実行支援、進捗管理を行うシステム

プロジェクト管理にフレームワークを使うメリット



導入の手軽さ

定義されたプロセスモデルをベースに早期に業務プロセスの立案（To-Beプロセス）が可能です。
策定したTo-Beプロセスを、BPMフレームワークにセットすることでスピーディーにプロジェクト管理システムが構築できます。



プロジェクトの道筋を示す 進捗管理

管理したい進捗タスクが、業務プロセスと連動して進むようになっています。
システムに合わせて決まったルールに則って業務を進めていくと、その担当者の現在地、どこまで進んでいて次に何をするのかがわかるため、属人化を排除します。



改変に強い フレームワーク

管理粒度の設定が特に難しいタスク管理を、業務の習熟度の合わせて管理粒度を変更できるため、短いスパンでの評価・見直し（PDCAサイクル）が実現可能です。

まとめ

プロジェクト管理の成功のカギは、業務改善の本質を理解することです。

本質を理解し、ポイントを踏まえた上で取り組むことにより、**組織全体のパフォーマンス向上を実現**させることができます。

【業務改善の本質】

明確なビジョンと
戦略的な目標の順位付け

効果的なリスク管理と
進捗管理

関係者間の
コミュニケーションと協力体制

プロジェクト管理BPMフレームワークは、これらの処理を円滑に行うためのAI・RPAなどのデジタル技術や、他の外部システムと連携を可能とするコンポーネントを準備しています。

本フレームワークを活用することで**スピーディーな業務改善が可能**となります。

【無料】ソリューション紹介資料のご案内

プロジェクト管理についての
より詳しい資料をお読みになりませんか？



資料請求は
こちらをクリック



Digital Solutions

デジタル社会をリードする